

# 飯塚 神功皇后伝説めぐりマップ



① **卍** **宇美八幡宮**  
 うみはちまんぐう  
 神功皇后が三韓出兵からの帰途に神功天皇を  
 ご出産された聖地。境内には「産湯の水」や  
 神功皇后を祀った聖母宮などがある。



② **卍** **太祖宮** **綾杉**  
 たいそぐう あやすぎ  
 神功皇后が三韓出兵の際に、若杉山頂の太祖  
 宮で祈願をし、御神木を手折り鎧の袖にさし  
 て御守にした。凱旋後、この枝を香椎宮に植  
 えたのが香椎の綾杉であり、明神加護のお礼  
 に枝分けして植えたのが若杉山の綾杉である。



③ **卍** **ショウケ越**  
 ごえ  
 ショウケとは竹で編んだザルの一種、箆箆（  
 そうけ）が訛ったもので、神功皇后が宇美八幡  
 宮で神功天皇を産後、ショウケの籠に入れ  
 て峠を越え、大分（だいぶん）に至ったことか  
 ら「ショウケ越」と云うようになった。



④ **卍** **腰掛石**  
 こしかけいし  
 神功皇后が「ショウケ越」で峠を越えるとき  
 に、この石に腰を掛けて休憩したと伝えられ  
 ており、通称「腰掛石」と呼ばれている。  
 横の石碑には「神功皇后御遺跡之碑」とある。



⑤ **卍** **大分八幡宮**  
 だいぶんはちまんぐう  
 菅崎宮の元宮といわれている大分八幡宮の境  
 内には、神功皇后ゆかりの大楠と神功天皇の  
 産湯の井戸がある。



⑥ **卍** **うぐいす塚**  
 づか  
 神功皇后がここで軍勢を解散し、それぞれの  
 故郷に帰らせた。以来この地を「大分（おおわ  
 け）」と呼んだのが「大分（だいぶん）」の地名の  
 起りであるという。



⑦ **卍** **樁八幡宮**  
 つばきはちまんぐう  
 神功皇后が都に帰る途中立ち寄り、堅い木  
 で作った剣の鏢を奉納し、日本の平和と繁栄  
 を祈願したとされている。



⑧ **卍** **曩祖八幡宮**  
 のうそはちまんぐう  
 神功皇后が三韓出兵からの帰途、長年付き従  
 った九州の臣たちと別れを惜しみ「またいつ  
 か逢いましょう」と口々に言い、この「いひ  
 つか」が「飯塚」の地名の由来の一つである  
 と伝えられている。



⑨ **卍** **撃鼓神社**  
 げきこじんじや  
 上宮の鼓打権現と下宮の笛吹権現は神功皇后  
 が三韓出兵の際の神楽奉納で、囃子の太鼓・  
 笛を指導した神といわれている。また、都に  
 帰る途中に立ち寄り、白旗八流を納め奉斎さ  
 れ、下宮の横にある池の水を汲み授乳の祈  
 願をされて以来「乳の池」と呼ばれている。



⑩ **卍** **日若神社**  
 ひわかじんじや  
 神功皇后が都に帰る途中ここを通り、霊泉の  
 立派なことに感激され、皇子とともに息災延  
 命を祈願し禊をした霊場とされている。神功  
 皇后がこの地は「ただならぬところ」と言っ  
 たことから多田という地名になったという。



⑪ **卍** **綱分八幡宮**  
 つなわきはちまんぐう  
 神功皇后が安産のおまじないとして産綱を分  
 けてお祀りしたことから、その土地を「綱分」  
 と呼び綱分八幡宮と名付けられた。



⑫ **卍** **稲築八幡宮**  
 いなつきはちまんぐう  
 神功皇后が都に帰る途中に立ち寄ったとき、  
 急なことで座布団が間に合わず稲束を敷いて  
 お迎えた。その稲を一束埋めて祀ったのが  
 稲築八幡宮の起りであり、稲築の地名の由来に  
 なっている。



⑬ **卍** **射手引神社**  
 いでびきじんじや  
 神功皇后が羽白熊鷹征伐で困難な戦いの中、  
 貴船宮の森に隠れ神々の御加護を祈ると、手  
 力雄命が射手を率いて現れ貴船の神々と共に  
 神功皇后の戦いを手助けした。その後、射手  
 力大明神を祀る神社と称し、射手引神社と呼  
 ばれるようになった。



⑭ **卍** **烏帽子岩**  
 えぼしいわ  
 大根地神社参道沿いの朱塗りの鳥居の左側に  
 「烏帽子岩」が鎮座しており、「神功皇后羽白  
 熊鷹征伐指揮の地」と記してある。



⑮ **卍** **大根地神社**  
 おおねちじんじや  
 神功皇后が羽白熊鷹を征伐する際に登山し、  
 天神7代、地神5代を祭って勝利を祈願した  
 のが始まりとされている。



⑯ **卍** **竈門神社** **竈門岩**  
 かまどじんじや かまどいわ  
 神功皇后が三韓出兵の際に宝満山に登り  
 再会を誓ったという「サイカチの木」が境  
 内にある。また、上宮に続く宝満山の八合  
 目付近には竈門岩があり、神功天皇の産湯  
 を沸かしたという伝説が伝えられている。

